

## 在校生からのメッセージ

### 2年理数科学科 赤井 胡桃

探究科学科では、1年次から少人数での授業を受けるため、発言する機会が多く、より授業に集中することができます。また先生に質問がしやすく、友達同士での教え合いも活発なため、授業への理解をより深いものにできます。また、理数探究の授業では、班員と協力し自分たちが興味のあるテーマについて探究します。難しく大変そうというイメージがあるかもしれませんが、仲間と意見を交わして、試行錯誤しながら研究できる機会はとても貴重で、成果が得られた時の達成感はとても大きいです。探究科学科は県内各地から個性豊かな仲間が集まり、皆時間が限られている中で、すきま時間を見つけて勉強を頑張っています。時には心が折れそうになることもあります。意識の高い仲間に出会えた恵まれた環境で過ごすことで、充実した毎日を送ることができています。

### 3年理数科学科 松田 彩友香

富山高校探究科学科には、探究科学科特有の特イベントの1つである「東京方面研修」というものがあります。皆さんは、「東京方面研修」と聞いてどのようなイメージを持つでしょうか。大変そう、難しそう、そのように感じる人も少なくないはず。しかし、東京大学で講義を受けたり、JAXAや東京大学医科学研究所など興味のある分野の研究施設や探究活動に生かせそうな場所を訪れたりする等、濃密な2泊3日の研修に参加できます。知りたいことや興味のあることを共有し合い、お互いに高め合える探究科の最高の仲間たちは、探究科最大の強みだと、この研修で実感しました。学校生活に刺激を与え、皆さんの数年後、何十年後にまで忘れられない思い出や記憶として残るでしょう。この研修を通して、私たち高校生が見ている世界がいかに狭いか、世界にはまだまだ驚くべき事実や発見があることを、痛感させられました。

### 3年理数科学科 小林 志達

私たちは、約1年間を通してプラナリアについて探究活動を行いました。プラナリアとは切断されても自力で再生できる、非常に再生能力の高い生物です。生物を扱う研究なので、毎日の世話や体調の管理、実験結果を観察し記録するなど、とても大変でした。予想通りの実験結果が出なかった時には、その理由を毎回考察し次に活かすようにしました。また、時間が限られた中での研究だったので、手順に間違いは無いのか、出た結果に再現性があるかを常に意識して取り組みました。そのような大変な研究を最後までやり遂げることが出来たのは、班員全員のチームワークと努力があったからだと思います。互いに意見を出し合い、真剣に討論し、最高の経験と結果を得ることが出来ました。私は将来、研究者として働きたいと思っています。高校生の時にこの様にひとつの研究テーマに打ち込むことができたことは、自分にとって貴重な財産になると思います。

### 2年人文社会科学科 酒井 悠磨

探究科学科では「なぜ？」を大切にします。自分の素直な興味から問いを立て、調べ、考え、探究の成果を形にし、それを多くの人 앞에서発表する。そのような学びが、探究活動を通して教科の枠を越えて広がっています。ここには知ることへの喜びがあります。考えることへの自由があります。そして、自分の中で眠っていた情熱が、そっと目を覚ます瞬間があります。少人数ならではの問いが飛び交う対話的な授業、互いに高め合い協力し合うレベルの高い仲間たち、そして何より、自分の将来の可能性を無限に広げられる環境が、必ずあなたの夢の実現への助けとなります。まだ見ぬ世界を、自らの足で歩きたい。そんなあなたに、この扉を開けてほしいです。

### 3年人文社会科学科 横川 爽多

東京研修では、1日目に東京大学を訪問し、農学部で講義を受け、研究室を訪問しました。最先端の設備を用いた研究や実験の様子を見学し、刺激を受けました。また、夜の本校OBOGの現役大学生との懇談会で、受験期の勉強方法や心構え、リアルな大学生活などを直接聞くことができました。2日目は、東京証券取引所で株価大暴落の瞬間に立ち会い経済変化を目の当たりにしました。また、財務省では国家予算づくりに挑戦しました。3日目は課題研究班ごとに分かれて行動しました。私の班は「おじさん構文」をテーマとしていたので、言語学に関わる多様な書籍を出版している大修館書店を訪問し、日本語の表現の違いについて教えていただき、探究活動をより深めることができました。この3日間で、今後体験できないような「冒険」をすることができ、探究活動や進路決定に活かせる貴重な体験となりました。

### 3年人文社会科学科 保正 裕騎

人文社会科学科の探究活動では、国語、英語、地歴公民をテーマとした課題研究を行います。探究活動は自由研究とどう違うのか考える人もいるかもしれませんが、私は「日常の様々なことに疑問を持ち、それについて仮説を立て、実験・調査・考察などを行い1つの結論を出す。また、その研究を様々な人に発表して質問や助言を貰い、より理解を深めていく。」ことだと思います。これは相当難しく、実際私は研究中何度も壁に当たりましたが、探究活動をやってよかったと思っています。それは、問題を様々な視点から捉える力や論理的に考える力など、将来必要とされる力を得ることができたからです。私たちは、木曾義仲の各小説における描かれ方の違いについて研究しましたが、仲間と協力して研究できたことは楽しく、探究活動には「学ぶ」ことの面白さが詰まっていると実感しました。

## 卒業生からのメッセージ

### 令和5年度卒業 人文社会科学科 小林 拓傑



富山高校136回生の小林拓傑です。私は現在、東京大学前期教養学部文科三類2年に在籍して幅広い分野について学んでおり、2年後期に文学部に進学する予定です。また、東京大学運動会剣道部に所属して学年主将も務めており、多くの先輩・同期と一緒にほぼ毎日稽古をし、生活の大部分が剣道で埋め尽くされるという幸せな生活を送っています。大学入学後も剣道を続けたことで、昨年、長年の目標であった全国大会に出場することもできました。富山高校の探究科学科ではレベルの高い友人たちと切磋琢磨し受験を乗り越えるとともに受験に必要な知識以外のことも多く学ぶことができました。大学の授業のレポートなどでは自ら問いを設定し、文献を調べ、情報の取捨選択をしながらまとめることが必要になります。このレポート作成には、富山高校で2年間行なった探究活動は大いに役に立っていると感じます。また、富山高校での友人とは長期休みに旅をして会う機会を作り、様々な場所に出かけています。富山高校での生活は私にとって大きな財産です。皆さんも富山高校での生活を存分に楽しんでください。

## TOYAMA HIGH SCHOOL

Courses for Inquiry on Natural Science,  
the Humanities and Social Studies

# 探究科学科ガイド 2026



## 富山県立富山高等学校

■ 理数科学科

■ 人文社会科学科

富山県立富山高等学校

〒939-8076 富山県富山市太郎丸1 TEL.076-421-2925 FAX.076-491-6277

公式ホームページ: <https://www.toyama-h.tym.ed.jp/> 学校代表メール: [toyamako@ed.pref.toyama.jp](mailto:toyamako@ed.pref.toyama.jp)





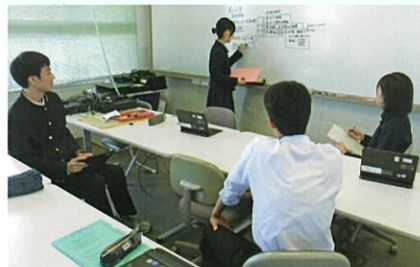
# 探究科学科は21世紀をリードする人材を育成します

## 探究科学科が目指す生徒とは



### 主体的に学び、考え、 行動する生徒

学ぶ意欲と知的好奇心を高め、科学的思考力や論理的思考力、批判的思考力を身につけ、探究活動の基礎となる力を養成します。



### 「探究力」をもとに自ら未来を切り拓いていく生徒

21世紀をたくましく生き抜くために、自ら課題を発見し解決する力と、対話と協働に基づく高いコミュニケーション能力の育成を目指します。

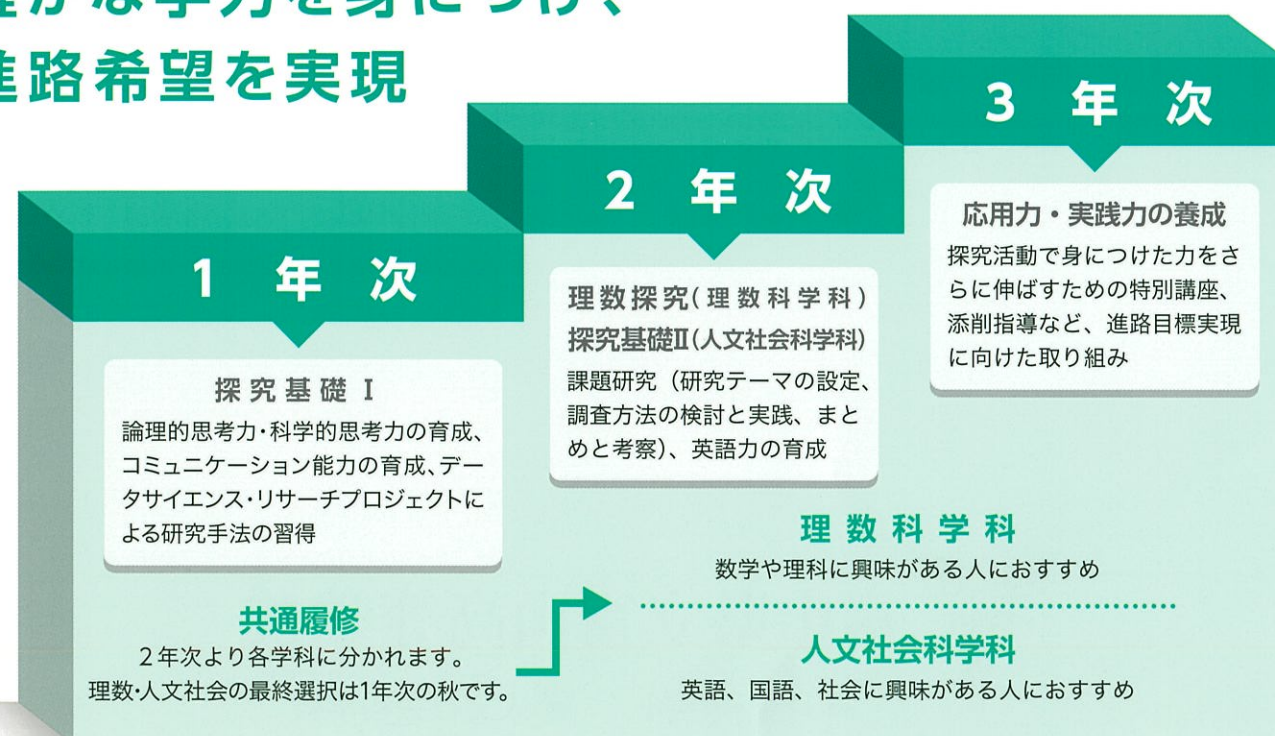


### グローバルな視点を持ちつつ、「発展的未来」に貢献する生徒

既存の知識を組み合わせた新しい知見から広く世界を俯瞰し、社会が予測未来より良いものとなるよう貢献する資質・能力の育成を目指します。



## 確かな学力を身につけ、 進路希望を実現



探究科学科には理数科学科と人文社会科学科の2つの学科があります。

## 探究科学科の1年間

人文社会科学科巡検研修(1年)



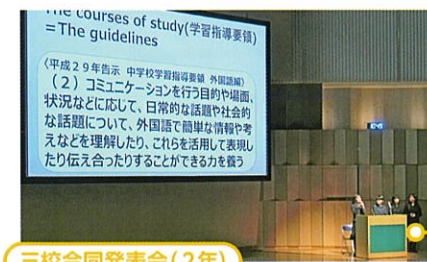
アメリカ研修



理数科学科巡検研修(1年)



三校合同発表会(2年)



校内ポスターセッション(1年)



校内ポスターセッション(2年)



高大連携授業(探究基礎Ⅱ)



東京方面研修JAXA(2年)



東京方面研修ソムラ(2年)



文化活動発表会(2年)



文化活動発表会(1年)



外部講師による講義(1年)



サイエンス・ダイアログ

